

ほっと京たなべ

ナルホドを\やってみよう/につなぐ広報紙

3

Mar.2025
No.946

\\ 3月15日グランドオープン //



「タナクロ」ロゴオブジェの前で、ワークショップの参加者と協力学生団体の皆さんらが「ウェルカムポーズ」

緑と農に親しむ公園

タナクロ

京田辺クロスパークが誕生

注目情報



- 10ページ 市職員を募集
- 11ページ パデルコートがオープン
- 25ページ 地域子育て支援センター河原保育所が閉所して田辺が開所



挟み込み

STEP 1 見学・体験

管理スタッフが常駐しているので安心。ここで施設の利用申し込みができるよ(管理棟)



手押しポンプで水が出せるよ(砂場付近)

タナクロスタッフが砂で作った巨大な顔(ちいさな砂場)



キッズスペースや自由に絵が描ける黒板があるよ(産直市場棟)

STEP 2 気付きやしたいことを共有

「見聞きたこと」「こんなことしたい」などの意見をいっぱい書き出し



みんなの前で「こんなことしたい」を発表!

- 主な意見
- タケノコ掘り ● 竹でプランコ作り
 - 竹馬レース ● ターザンロープ
 - 竹で流しそうめん ● サツマイモ掘り
 - 砂場で大きい城作り
 - 七夕飾りやイルミネーション

STEP 3 マップ作り

クレヨンでタナクロマップを描いたよ



3月15日(土) グランドオープン!

時間=正午から(午前は来賓によるテープカットなどの式典)
 内容(出演)=▼産直市場・キッチンカー・収穫体験(有料)▼青空ステージ(田辺中学校吹奏楽部・KDSC ラブリーエンジェルス・京都文教中学校・高等学校ダンス部・(社福)たんぼによるジェンベ演奏)▼砂遊び(同志社女子大学現代社会学部特任教授の笠間浩幸さん)。詳しくは、市ホームページを確認してください。

タナクロマップを作るワークショップ 16人のこどもが参加

1月18日、タナクロマップを作るワークショップに小・中学生16人が参加しました。オープン前の園内をくまなく歩いて見学した後、協力学生団体「ワンダーチョイスプロジェクト」が進行役となり、気付きやアイデアを出し合っ



【特集】P2▶7 緑と農に親しむ公園 タナクロ 京田辺クロスパークが誕生

問合せ先=公園緑地課 (☎ 64-1344)

田辺中学校南側に広がる田辺公園新エリア「京田辺クロスパーク(タナクロ)」がいよいよグランドオープンします。

■本市初のPark+PFIを導入
 同公園の整備・管理には、民間資金とノウハウを活用するPark+PFI(※)を本市で初めて導入しています。

■障がいのある人が参画
 障がいのある人が、公園の管理・運営に参画し、将来の社会的自立に向けた就労訓練の仕組みをつくるため、Park+PFI事業者と市内の就労支援事業所をつなぐ調整機関として「(社)京田辺みんなの働くプロジェクト」を設立し、互いに連携を図りながら取り組めます。

障がいのある人が公園の清掃や除草など単純作業に携わる事例は他でもありますが、管理・運営にまで関わる上、複数の就労支援事業所が連携して活動する事例は珍しく、先例モデルとして全国から注目されています。

※Park+PFI公園施設の整備・運営を公募により選定した民間企業が一体的に行う制度。タナクロでは、東シ建設グループ(東シ建設(株)・京阪園芸(株)・東洋コミュニケーションサービス(株))がその役割を担います。

◎名称やロゴに込められた意味

■名称 公園のコンセプトである「こどもから高齢者まで、全ての市民が緑や農にふれあいながら交流(クロス)する」をイメージしています。全国から寄せられた148件のアイデアの中から、たなフェス来場者の投票や愛称選定委員会による選考を経て決まりました。

■ロゴ タナクロの農体験施設であるビニールハウスをモチーフに、日本の伝統色で四季を表現するとともに、京都らしい品性を持ちながらも活動的でポップな印象を作り上げています。

◎タナクロのコンセプト

「農福連携をテーマに、緑と農に親しむ公園」

- ▶ こどもから高齢者、障がいのある人など全ての市民が交流する緑の拠点づくりを目指します。
- ▶ 来園者が、土や緑にふれあう体験や環境学習のできる公園を目指します。
- ▶ 公園の管理や運営に障がいのある人が関わることで、将来の社会的自立に向けた就労訓練・支援の場として活用します。

有料施設の詳細はこちら



タナクロ

開園時間=午前9時~午後5時
 休園日=毎週水曜日(祝日の場合は翌日が休園)
 申込・問合せ先=京田辺クロスパーク管理事務所 (☎ 29-9124, FAX 29-9125, info-tanakuro.tcc.mb@mail.toray)



産直市場棟

ココが魅力!

- ▶ グリーンハウスで収穫した野菜が買える
- ▶ 採れたて野菜のサラダが食べられる
- ▶ 市内の特産品を販売



多目的棟 (有料)

ココが魅力!

- ▶ 3棟あるルームを借りられる
- ▶ ドアが引き戸で開閉が楽
- ▶ コンセントの位置が高く、車いす利用者も使いやすい



プレーパーク

ココが魅力!

- ▶ 整備を最小限に抑えた竹林で、大人のプレーリーダーが見守る中、自由な発想で遊び場を創造できる
- ▶ 木登り・ツリーハウス作り・竹を切って流しそめん・たき火(許可制)など、遊び方は無限大

園内MAP

障がいのある人の声も取り入れた誰もが利用しやすいやさしい施設です。園路には段差がないほか、バリアフリートイレが5カ所もあります。

※園路は自転車の通行不可。押して通行してください。



関西最大級の広さだよ!



協力学生団体「ワンダーチョイスプロジェクト」



砂場

ココが魅力!

- ▶ ビーチバレーができる広さ
- ▶ 大・小・車いすでも楽しめる高床砂場が3種類ある
- ▶ 手洗い場がある
- ▶ 手押しポンプで水遊びができる
- ▶ 病气やけが、高齢者のリハビリ訓練にも生かせる

1年中野菜の収穫が楽しめるよ!



グリーンハウス・ファーム (有料)

※グリーンハウスの基本料金=▼体験1回につき550円▼3カ月プログラム6,600円
収穫物の種類や量により変動します。

ココが魅力!

- ▶ 種まきから、定植・収穫までの一連の作業が指導者のもとで体験できる
- ▶ 手ぶらで楽しめる
- ▶ みんなでシェアしながら野菜作りを楽しめる

グリーンハウスならではの魅力

- ▶ 高床式砂栽培(トレファーム®)を採用しているので腰をかがめず収穫できる
- ▶ はさみで簡単に収穫できる
- ▶ スーパーマーケットでは見掛けない珍しい野菜が収穫できる
- ▶ 肥料・水やりが全自動



駐車場

ココが魅力!

- ▶ 広々とした駐車場(60台・おもいやり駐車場5台・大型バス4台)
- ▶ 無料EV充(放)電器を設置
- ▶ 入口に支援が必要な人のためのインターホンを設置



思わず駆け出したくなるよ!

芝生ひろば

ココが魅力!

- ▶ 天然芝が気持ちいい
- ▶ 砂場との間に車いすでも通れる園路を確保



助ける対象からサービスを受けることで
障がい者の見方が変われば

就労支援事業所をまとめるコーディネーター
一般社団法人 京田辺みんなの働くプロジェクト
代表 栗山 由生さん(46)

20歳の時にバイク事故で脊髄損傷したことで車いす生活になりました。
趣味は、実家から送られてくる野菜で副菜を作りお酒を飲むことです。また、最近では2・3カ月に1度のペースで演劇鑑賞を楽しんでいます。

法人の活動内容は

令和4年4月に設立した法人で、名称は参画する就労支援事業所(以下、事業所)の利用者に募り、人気投票で「京田辺みんなの働くプロジェクト」と命名しました。

活動内容は、市内にある7つの事業所と連携して就労支援を行っています。活動の1つとして、本法人が持つ産業ネットワークを生かして、障がい者へ仕事を発注したい企業・団体と事業所を結びつけることで仕事を創出しています。事業所によって扱う商品や得意とする技術・人材が異なるため、幅広いニーズに対応できることが強みです。事業所を利用している障

最近の実績は

車販売会社からの依頼で、ノベルティーとしてさまざまな事業所の商品を詰め合わせて200セット納品したところ、とても好評でした。入れ物には、施設利用者が描いたデザインで飾ったエコバッグを採用しました。また、封入作業などの軽作業も受注しています。

企画したイベントは

これまでに3回、田辺公園花見山などで「みんフェス」というイベントを開きました。各事業所が作る商品の販売や、支援学校の生徒

タナクロの存在は

素晴らしいステージを用意していただいたと喜んでいきます。カフェやマルシェなどのイベントを通じて、障がい者と市民のつながりが生まれます。また、障がい者の持つ多様なスキルや特性がさまざまな場面で生かせるので、活躍の場が広がると思っています。

市民の皆さんにメッセージ

障がい者が主催するイベントは、「特別なもの」という目で見られ

東洋コミュニティサービス(株)に所属し、タナクロで働く中島さんに話を伺いました。

タナクロで働くまでの経緯は

これまで10年間ほど、民間の工場パート従業員として働いていました。しかし、療育手帳を持っているために正職員になれず、偏った見方によって自分の頑張りを認めてもらえないのではないかと感じていました。そんな中、年齢や性別、障がいの有無に関係なく自分の頑張りを認めてもらえる会社と出会い、転職を決意しました。砂栽培の研修を経て、1月からタナクロで従事し、現在はオープンに向けてハウスで種まきや公園内

の清掃を行っています。

タナクロでしたいことは

市民の皆さんに気軽に来ていただける楽しいイベントを企画したいです。例えば、以前、市内で開かれていた花火大会がなくなったため、手持ち花火を使ったイベントを企画し、浴衣を着るきっかけをつくりたいと考えています。その際には、私自身が技術を身に付けてこどもたちに着付けをしてあげたいです。そして、こどもたちに手を振ってもらえるような距離感で愛されるスタッフになりたいです。

自身のことを教えて

外見からは分かりにくいですが、



浴衣を着るきっかけとなる
イベントを企画したい

タナクロスタッフ
東洋コミュニティサービス株式会社
(東レ建設グループ)
中島 波さん

お店に足を運んで、映えるメニューの写真を撮るのが趣味です。

私たちが居心地の良い公園づくりに取り組んでいます



タナクロスタッフの皆さん

ちなため、興味のある人しか来場しない傾向があります。タナクロには固定観念を持たずに気軽に遊びに来てもらいたいです。今まで助ける対象と見ていた人から、逆にサービスを提供してもらおうことで、障がい者に対する見方を変えていければと考えています。

ようになれば手帳は返納しようと考えています。

市民の皆さんにメッセージ

タナクロを訪れた際には、ぜひ気軽にスタッフに声を掛けてください。私たちは、皆さんが元気を持って帰れるようなタナクロを目指して頑張ります。まだまだ先の夢になるかと思いますが、いつかはタナクロの中だけでも偏見のない世界をつくっていかれたらと思っています。誰かの役に立ったり、元気がもらえたり、そんな出会いを大切にして、誰もが働きたいと思える公園にしたいです。

取材後記-広報担当者のつぶやき-

今回の取材を通じて、私自身が障がいのある人に対して先入観を抱いていたことに気付きました。取材前は、「障がいのある人だから、分かりやすい言葉でゆっくり質問しよう」「傷つけないように発言には細心の注意を払おう」と考えていました。しかし、実際に対面で取材を行ってみると、健常者との違いが全く感じられませんでした。中島さんが望むように、「障がいのある人だからできない」という決めつけをなくし、誰もが分け隔てなく笑顔で交流できるバリアのない社会がタナクロを拠点に広がることを心から願っています。